

J-VER 認証取得と販売



公社では、環境省の「震災復興事業者支援事業」を活用し、「間伐促進による震災復興と森林吸収 J-VER プロジェクト」を平成 24 年に立ち上げました。

対象分収林は、津波被災地である気仙沼市、南三陸町とし事前調査を行い申請した結果、平成 25 年 2 月 18 日に認証を取得することができました。これにより、J-VER（カーボンオフセットクレジット）をカーボンオフセットに取り組む企業等に販売し、収益は間伐等の森林整備に充てることとしております。

■ 認証取得内容

- ・ 取得分収林 気仙沼市、南三陸町 50 ヘクタール
- ・ 取得数量 1,150 二酸化炭素トン
- ・ 販売数量 1,116 二酸化炭素トン
- ・ 販売単価 15,000 円／二酸化炭素トン

■ 平成 25 年 3 月の販売開始以降、各社様の積極的な購入により、平成 30 年 3 月 5 日現在、6 二酸化炭素トンの残量となり、平成 30 年 5 月中に販売数量に達しました。ここに、厚く御礼申し上げます。

海岸林の再生（震災復興支援）



東日本大震災時の大津波により被災した海岸防災林の再生を目的に、林業関係団体、企業の協賛を得て、「海岸防災林の再生を考える会」を設立し、東松島市牛網地区において「海岸防災林再生試験施工」を実施しました。

試験施工の内容、成長量調査等を踏まえ、報告書「海岸防災林の再生の再生に向けて」を作成しました。

■ 再生試験の内容

- ・ 植栽等実施 平成 24 年 3 月 14 日から
- ・ 施工面積 樹木植栽 360 m²、盛土表面緑化 160 m²
- ・ 植栽樹種等 クロマツ、ケヤキ、コナラ計 227 本、広葉樹 6 種の播種、防風柵 82m ほか

海岸林の再生（震災復興支援）



東日本大震災時の大津波により「カキ養殖筏」に甚大な被害がありました。

公社では宮城県漁協からの依頼を受け、石巻市長面浦のカキ養殖漁業者に、仙台市太白区秋保の分収林から切り出したスギ間伐材を提供しました。県外ボランティア等の協力もあり、平成 24 年 5 月にカキ養殖筏 15 台が完成し、養殖場に設置されました。

- ・ 間伐実施 平成 23 年 12 月から平成 24 年 2 月
- ・ 提供間伐材 463 本（直径 15 cm、長さ 8m から 11m）